

ICT 活用に関するアンケート調査 報告書

吹田市 PTA 協議会 ICT 促進特別部会

作成日：令和 3 年 3 月 15 日

【調査概要】

調査の背景：PTA 活動を円滑に行うためには、ICT の活用が欠かせない時代となっている。

一方で、市 P と単位 PTA の主な情報伝達は学校園を通じた遞送便となっており、非常時には連絡が取りづらい状況が発生してしまう。

調査の目的：本調査では、各単位 PTA の ICT 活用状況を把握することで、連絡手段の見直しや、PTA 活動における ICT 活用を促進する

調査対象：吹田市内 69 校園（こども園・幼稚園 15・小学校 36・中学校 18）の単位 PTA

調査期間：令和 3 年 1 月 5 日～2 月 6 日

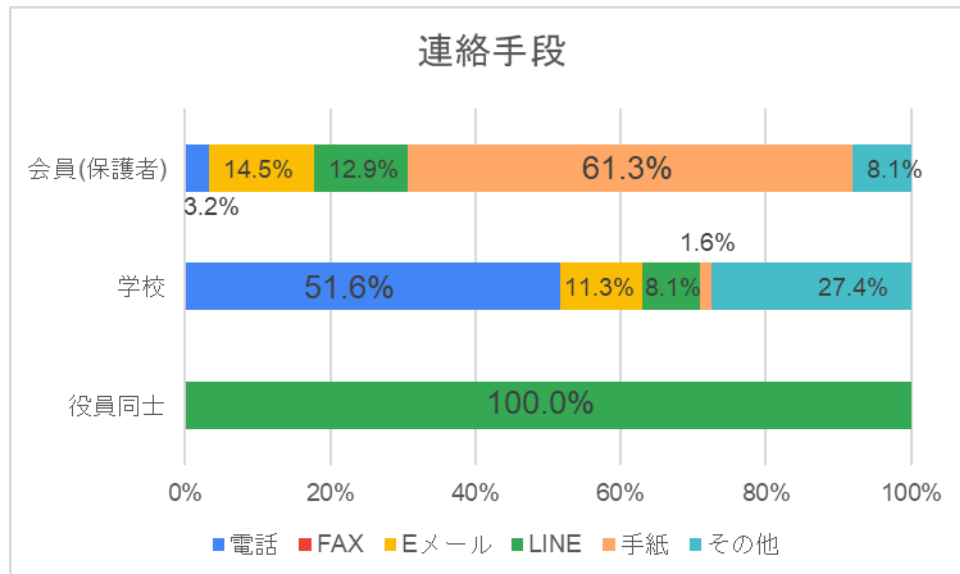
回答件数：63 件（WEB：55 件、遞送：8 件）

回答率：89.8%（こども園・幼稚園 100%・小学校 88.9・中学校 88.9%）

1. PTA 活動での ICT 活用について

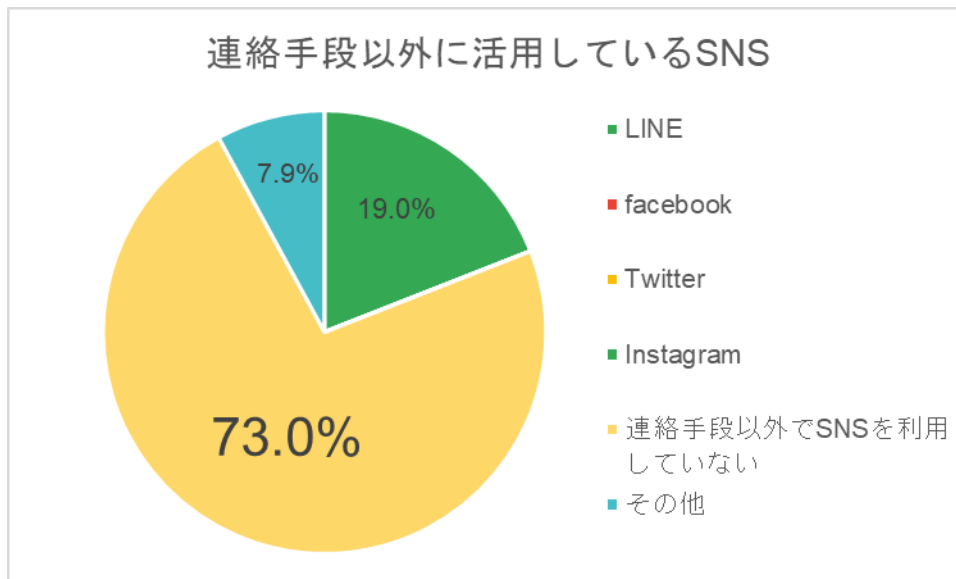
（1）連絡手段として、最も使用しているものについて

- ・役員同士の連絡手段では、すべての回答者が「LINE」と回答した。
- ・学校との連絡手段で最も多かったのが「電話」（51.6%）。会員（保護者）との連絡手段で最も多かったのが「手紙」（61.3%）となった。
- ・学校との連絡手段のうち「その他」と回答した 17 件のうち、16 件は直接学校園などに向き「対面」（25.8%）にて行われるものであった。残りの 1 件については、「携帯 sms」であった。
- ・会員（保護者）との連絡手段のうち「その他」と回答した 5 件のうち、4 件はミマモルメなどによる「一斉メール」であった。残りの 1 件については、「LINE オープンチャット」であった。



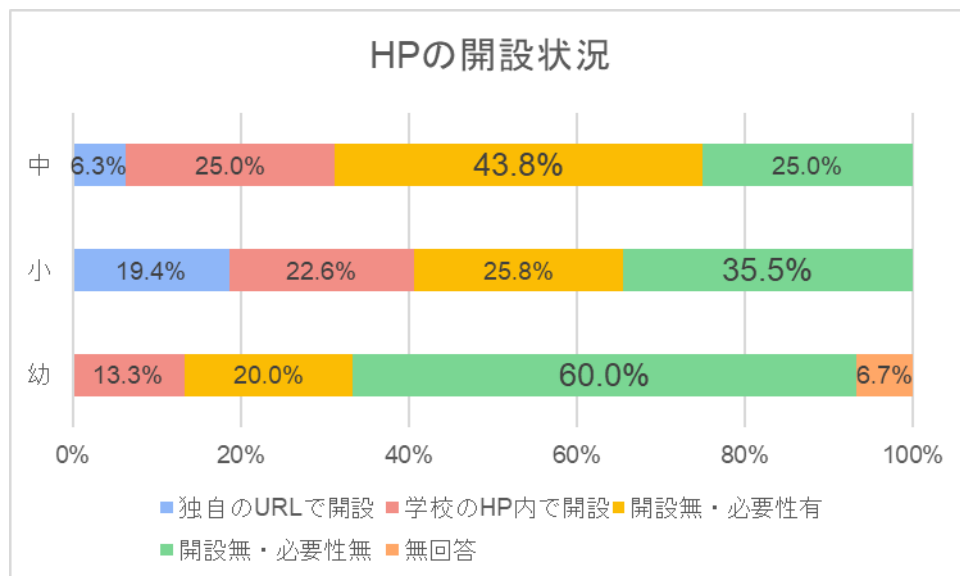
(2) SNSの活用状況について

- ・役員同士の連絡手段として「LINE」の活用率が高かったものの、連絡手段以外に活用しているSNSについては、約7割の団体が「SNSを利用していない」と回答した。

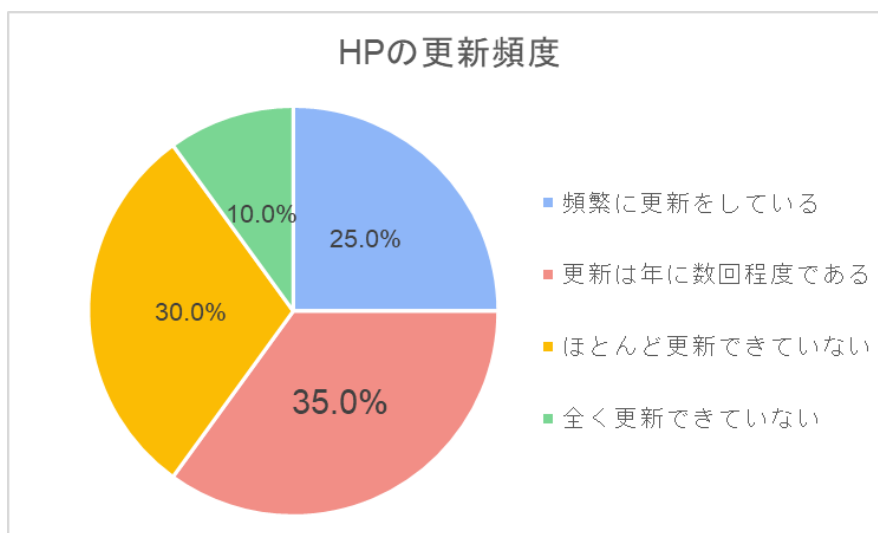


(3) 単Pのホームページについて

- ・HPの開設状況については、「開設していないし必要性も感じていない」と回答した割合が一番高くなった(38.1%)。
- ・所属別にみると、こども園・幼稚園での必要性が低い傾向にあり、中学校では必要性が高い傾向にあった。なお、開設率が一番高いのは小学校(42.0%)であった。

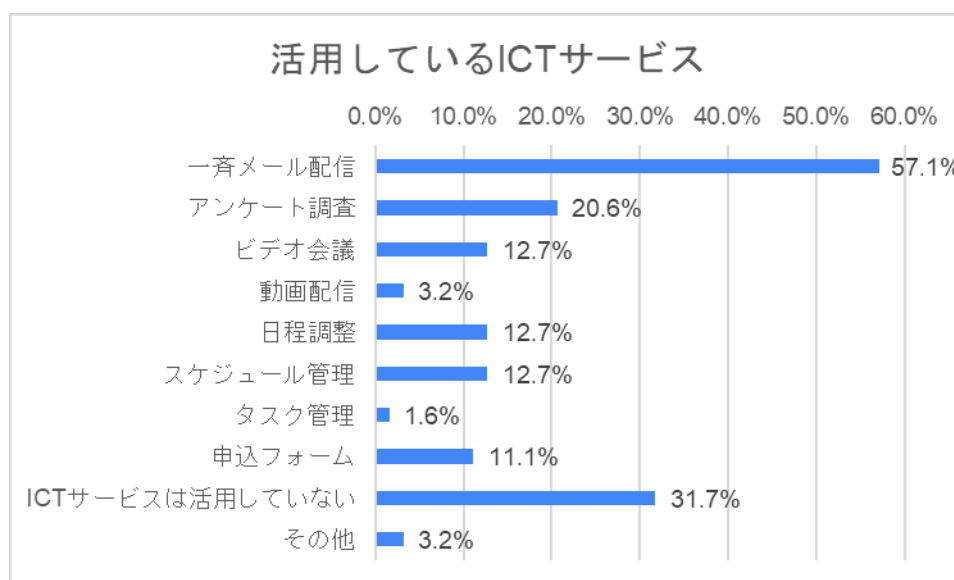


- ・HP を開設している 20 件のうち、更新頻度をたずねたところ、「更新は年に数回程度である」と回答した団体が最も多くなった（35.0%）。「頻繁に更新している」と回答した団体と合わせると約 6 割の団体が、HP を更新できている状況である。



(4) 単Pで活用している ICT サービスについて

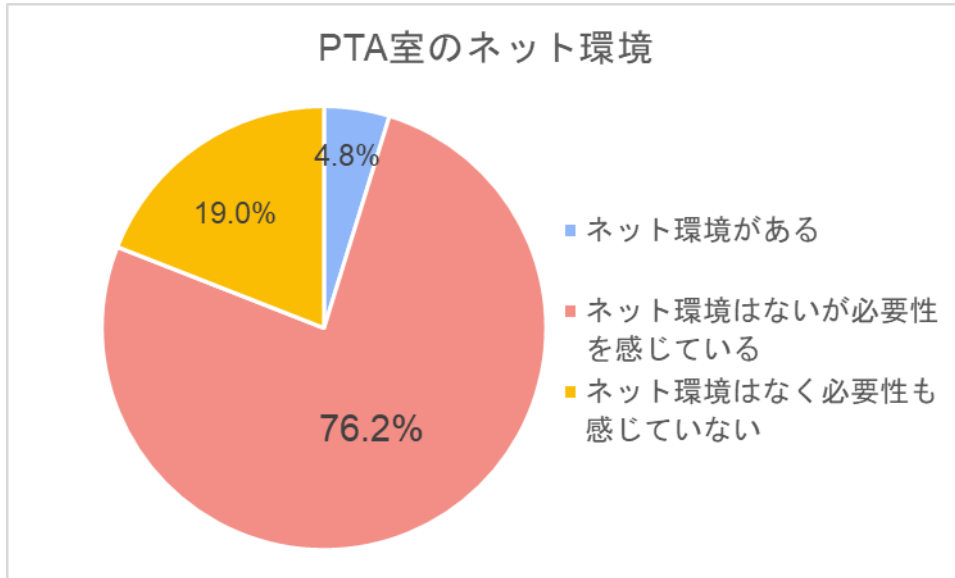
- ・最も多く回答されたのが「一斉メール配信」(57.1%)であった。次いで多かった回答が「ICT サービスは活用していない」(31.7%)であった。



2. PTA室のICT環境について

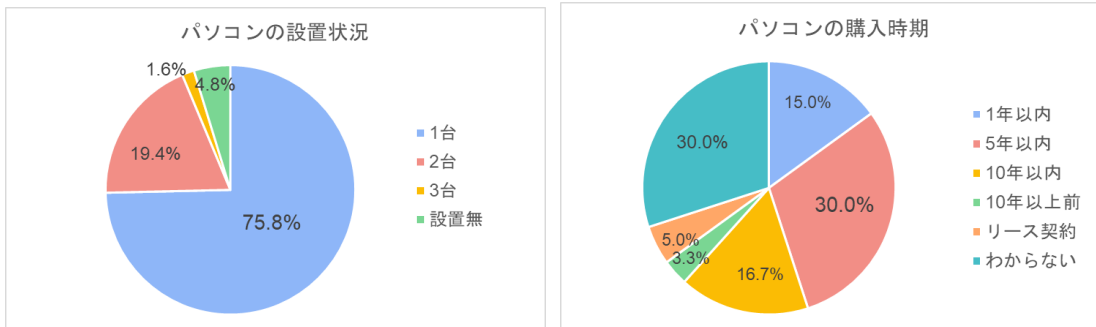
(1) ネット環境について

- ・約7割の団体が「ネット環境はないが必要性を感じている」と回答した。なお、「ネット環境がある」と回答した3件の内訳は、小学校2件、中学校1件である。

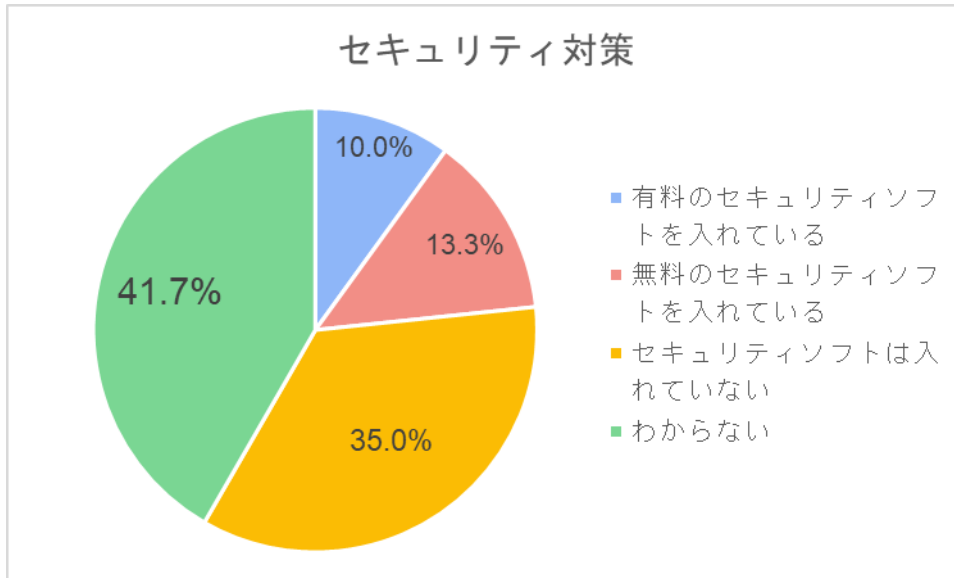


(2) パソコンについて

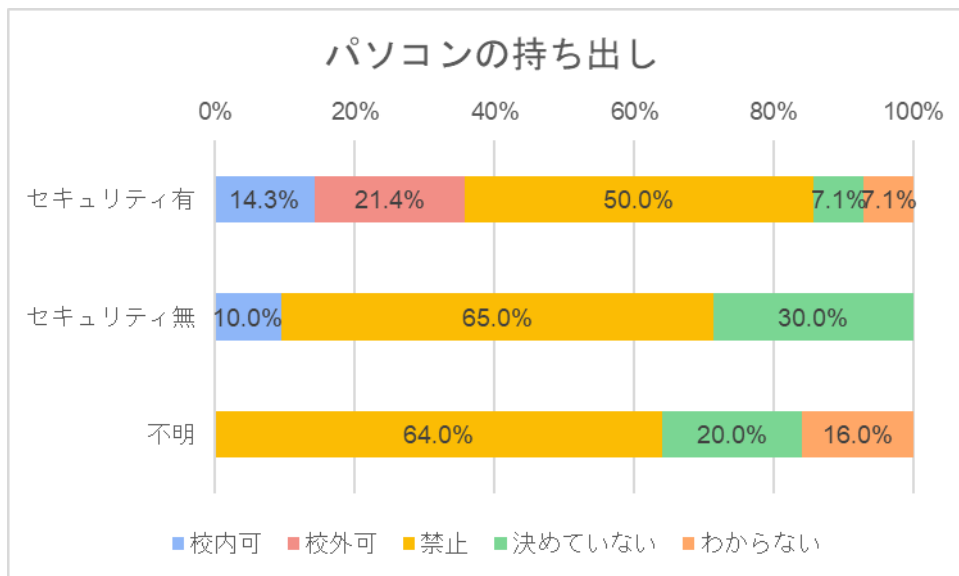
- ・約9割の団体が「パソコンを設置している」と回答した。なお「パソコンは設置していない」と回答した3件の団体はすべて、こども園・幼稚園であった。
- ・パソコンの購入時期については、最も多く回答されたのが「5年以内」(30.0%)であった。



- ・パソコンのセキュリティ対策については、最も多く回答されたのが「わからない」(41.7%)であった。また、有料・無料を問わずセキュリティソフトを導入していると回答した割合は、全体の約2割であった。

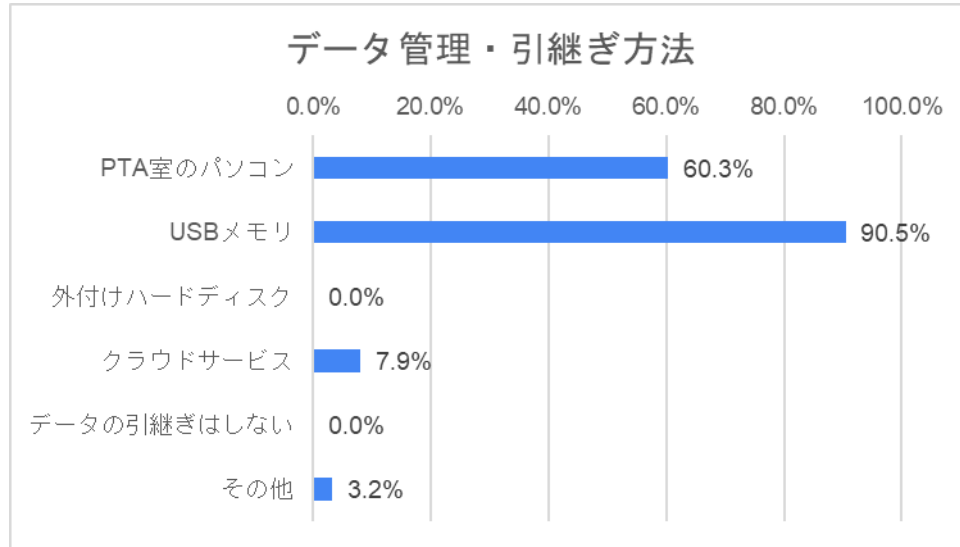


・パソコンの持ち出しについて、「PTA 室外への持ち出しは禁じている」(60.0%)と回答した団体が最も多くなった。また、セキュリティソフトを導入している団体ほど、持ち出しの運用率が高い傾向にあった。

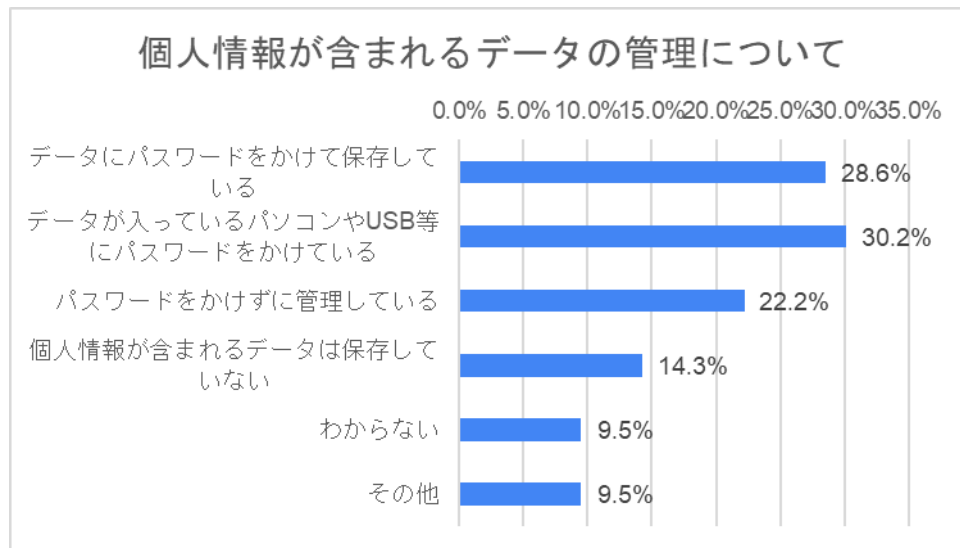


3. データの取り扱いについて

- ・約9割の団体が、データの管理や引継ぎで「USBメモリ」を使用していることがわかった。
- ・「その他」と回答した2件の内訳は、「LINE」「用紙」という回答であった。なお、「クラウドサービス」と回答した5件の団体の所属は、すべて小学校であった。



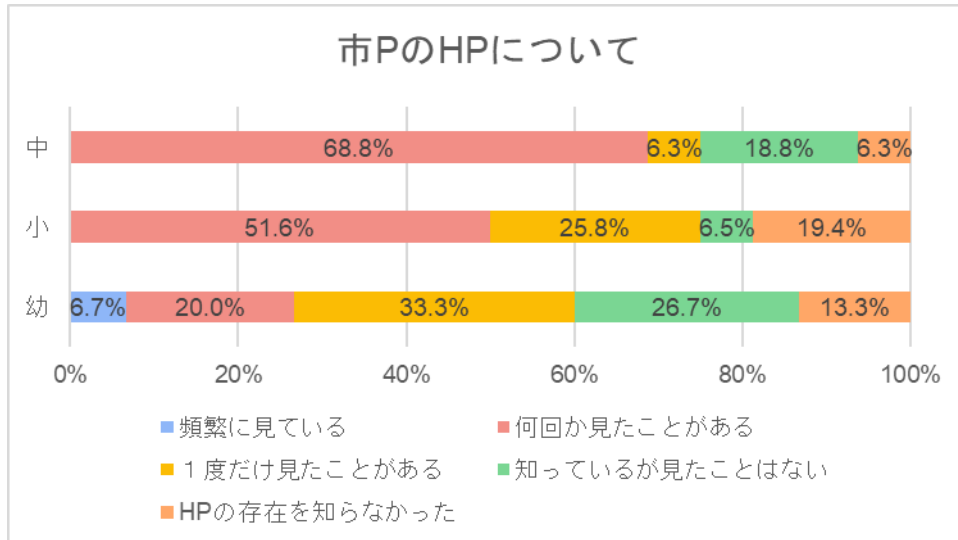
- ・個人情報が含まれるデータの管理については、「データが入っているパソコンやUSB等にパスワードをかけている」と回答した割合が一番高くなった（30.2%）。
- ・「その他」の回答では、鍵付きのロッカーや金庫などで保管するといった、物理的な対策に取り組まれている傾向がみられた。



4. 市P関連について

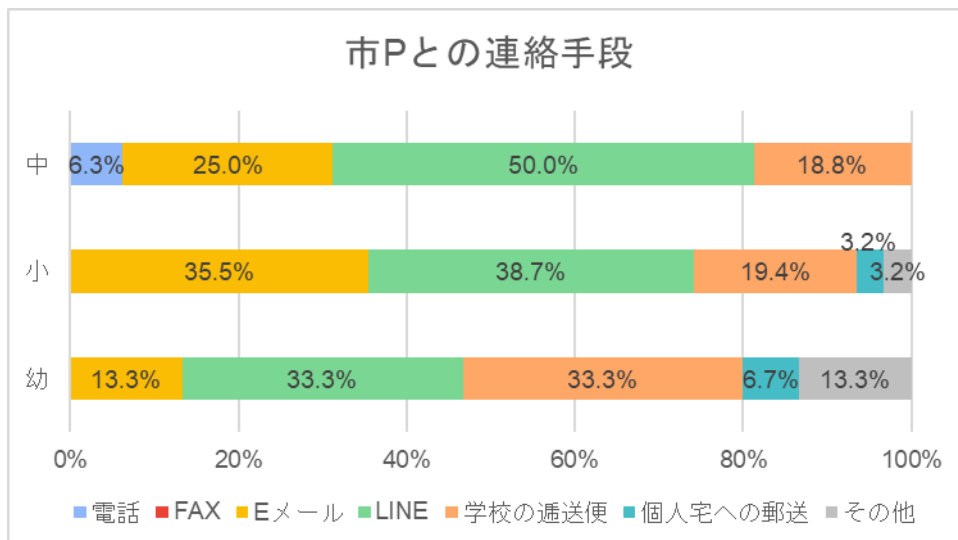
(1) 市PのHPについて

- ・「何回か見たことがある」と回答した割合が一番高くなった（47.6%）。
- ・所属別にみると、こども園・幼稚園がHPを見たことがない割合が一番高かった（40.0%）。



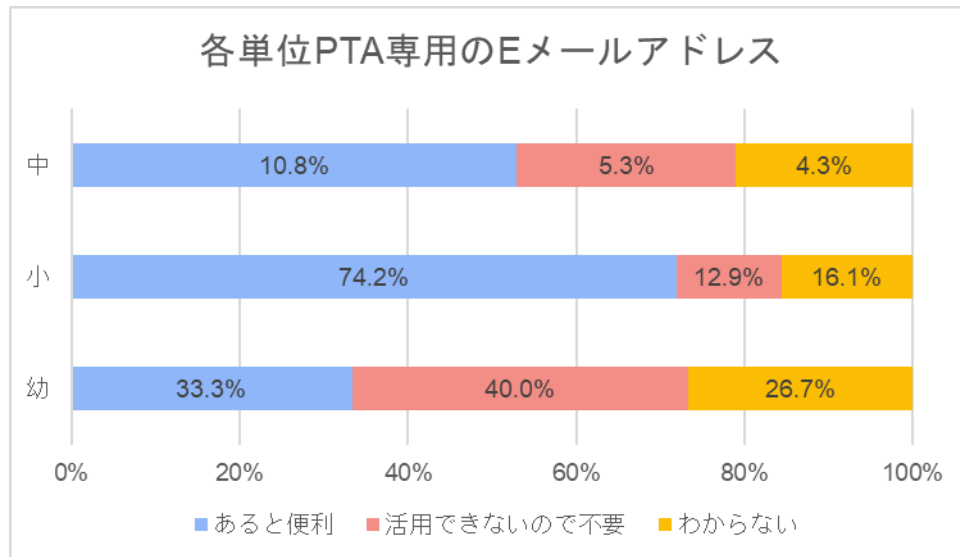
(2) 市Pとの連絡手段について

- ・最も多く回答されたのが「LINE」であった（39.7%）。次いで多かったのが、「Eメール」（27.0%）であったが、「学校の通送便」（22.2%）との差はわずか4.8%であった。
- ・また「その他」の回答の中には、「個人メールはNG」という記述があった。



(3) 各単位 PTA 専用の E メールアドレスについて

- ・約 6 割の団体が「単位 PTA 専用のメールアドレスがあると便利である」と回答した。
- ・所属別にみると、こども園・幼稚園のニーズが一番低い傾向にあった。



(4) ICTに関する専門相談やサポート機関の必要性について

- ・最も多かった回答が「市Pで相談やサポートをしてほしい」(57.1%)であった。
- ・所属別にみると、こども園・幼稚園のニーズが一番低い傾向にあった。

